

第*学年*組 (英語) 学習指導案

指導者 県立水戸第二高等学校 教諭 船橋 優子

1 単元名 Lesson 7 Inspired by Nature / PRO-VISION Communication English II (桐原書店)

2 単元の見積

- 積極的にペア活動やグループ活動に取り組み、相手の話に興味を持って聞いたり、質問やコメントをしたりしようとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 生物の形や機能をいかした製品を考えてメモをまとめ、発話することができる。
- バイオミメティクスの役割に関して、自分の意見を英語で書くことができる。 (外国語表現の能力)
- 本文を聞いたり読んだりして、生物が持つ優れた機能や形状を模倣した新しいテクノロジーの内容を正確に理解することができる。 (外国語理解の能力)
- 過去分詞で始まる分詞構文やさまざまな不定詞 (否定・完了形・意味上の主語) の用法を理解する。 (言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では現在注目を集めている研究である「バイオミメティクス」を扱う。バイオミメティクスの事例を通して、生物が持つ驚くべき能力について学ぶとともに、資源の枯渇や環境破壊など、人類が直面する課題に目を向けるきっかけとする。言語材料としては、過去分詞で始まる分詞構文やさまざまな不定詞 (否定・完了形・意味上の主語) の用法の知識を身に付ける。

(2) 生徒の実態

生徒は毎時継続して授業冒頭にスピーキング活動を入れていることにより、英語を話すことに少しずつ慣れてきた様子が見られ、以前より積極的にペアワークに取り組むようになってきた。しかしながら、1 minute monologue などでは1分間で60words以上が*名、50~40wordsが*名、40~30wordsが*名、30~20wordsが*名 (参考: *年*組*名 平成27年*月*日 過去7回の平均ワード数) と、流暢に話すことのできる生徒はまだ少ない。

(3) 指導観

本単元で取り扱われているバイオミメティクスが私たちの生活にもたらす利点とは何なのか、そしてバイオミメティクスによる弊害とは何なのかという視点で読み進め、生徒が単元全体を通して自分たちの生活と環境問題が密接に関わっていることを認識できるようにしていきたい。それに伴い、バイオミメティクスに関して自分の考えを持ち、積極的に発話する機会をつくり、英語のスピーキング力を育てるとともに、読んだ物事に対して主体的に考えたり、疑問を持ったりする習慣を身に付けていきたい。生徒の意見や疑問をシェアさせるために、様々な学習形態を工夫していく。各パート終了後にはそのパートに関連した意見文やターゲットグラマーを使ったセンテンスを書く活動を行い、スピーキングだけではなく、ライティングの能力も伸ばしていきたい。

4 指導と評価計画 (10時間扱い)

時間	学習内容	関	表	理	知	評価規準 (評価方法)
帯活動	2minutes pair work または 各パートのリテリング					
1	生物の特徴に関するクイズに答え、バイオミメティクスとは何かを全体で共有する。その後、単元全体を読み通し、T/F クイズに回答することで概要を把握する。	○			○	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで自分の考えを伝え合うことができる。 (観察) ・単元全体の概要を把握することができる。 (ワークシート)

2	・Part1 の内容理解			◎		・Part1 の本文を読み、内容を理解することができる。 (観察・ワークシート)
3	・Part1 の復習 ・Part1 の内容を踏まえたスピーキング活動, ライティング活動			○		・Part1 の内容に関連した英語を尋ねたり, 話したりすることができる。 (観察)
4	・Part2 の内容理解			◎		・Part2 の本文を読み、内容を理解することができる。 (観察・ワークシート)
5	・Part2 の復習 ・Part2 の内容を踏まえたスピーキング活動, ライティング活動			○		・Part2 の内容に関連した英語を尋ねたり, 話したりすることができる。 (観察)
6	・Part3 の内容理解			◎		・Part3 の本文を読み、内容を理解することができる。 (観察・ワークシート)
7	・Part3 の復習 ・Part3 の内容を踏まえたスピーキング活動, ライティング活動			○		・Part3 の内容に関連した英語を尋ねたり, 話したりすることができる。 (観察)
8	・Part4 の内容理解			◎		・Part4 の本文を読み、内容を理解することができる。 (観察・ワークシート)
9	・Part4 の復習 ・スピーチ活動のための事前準備			○	○	・与えられたバイオメティクスの製品に関する情報を基に, スピーチ原稿を作成することができる。 (ワークシート)
10 (本時)	・単元全体の内容を踏まえたスピーチ活動	◎				・相手に伝えるスピーチをしようとする。 ・友達のスピーチを聞いて, 製品の良いところをコメントしたり, 質問をしようとする。 (観察, ワークシート)

(1) 目標

- 相手に伝えるスピーチをしようとする。
- 友達のスピーチの内容を理解し, 製品の良いところをコメントしたり, 質問をしたりしようとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 準備するもの

ワークシート, タイマー

(3) 展 開

	学習活動及び内容	時間	指導上の留意点 (◎評価)
Warming Up	○Greeting ◆Pair work Which do you like better, Tokyo Disney Sea or Tokyo Disney Land? ・じゃんけんの勝者は好きな方を明示し、敗者は勝者の発言に対して、You said _____ とリピートをした後、5W1H を使った質問をし、答えてもらう。 ・役割を交代して2回目を行う。	5分	・相手との会話を楽しめるよう、簡単なテーマを提示し、英語活動の雰囲気を作る。 ・相手の発言内容を You said _____ と繰り返している様子を観察し、スムーズにいかないペアを支援する。
目標の確認	○本時の目標を確認する。 ・ We will try to make a good speech. ・ We can make questions or comments about your friend's	2分	・本時の目標を全員で音読して確認し、活動の目的をもたせる。 ・目標を板書し、いつでも確認できるようにする。
活 動	○製品をシェアするグループ活動 1)板書に沿ってグループ活動の流れを全体で確認する。 FLOW 【板書内容】 1. Greeting 2. Speech ①Speech 2min ②Preparation time 1.5min ③Questions and Comments 2min ④Evaluation 3.Choose best speaker in group 4.Choose best speaker in class Role Chairperson, Speaker, Listener×2 2)スピーチをする際、大切なことを確認する。 To make a good speech ○○○ 1. Clear Voice 2. Smile 3. Eye Contact 3)グループごとに板書にあるFLOWに沿ってスピーチを行う。グループごとにベストスピーカーを決める。 4)ベストスピーカーの中から数名、全体の前でスピーチをする。	47分 1) 7分 2) 3分 3) 30分 ①2分 ②1分30秒 ③2分 を合計4回 繰り返す (5人グループは5回) 4) 7分	・役割を決め、すべての生徒がグループ活動時にやることを明確にする。 ・スピーチの流れを板書し、活動の見通しをもたせる。 ・スピーチを聞く際は、相づちを打ち、スピーチしやすくするために相手に反応を返すよう促す。 ・相手のスピーチに対して、質問もしくはコメントをすることをルールにする。話し手に相手意識をもたせるだけでなく、聞き手も相手のスピーチを理解しようとする態度を育成する。 ・ベストスピーカーの発表の際は、聞きながら教師を含む全員で相づちを打ち、発表者が話しやすい雰囲気を作る。 ◎相手に伝えるスピーチをしようとする。(関心・意欲・態度) ◎友達のスピーチの内容を理解し、製品の良いところをコメントしたり、質問をしたりしようとする。(関心・意欲・態度)
まとめ	・本時のまとめをし、次時の連絡をする。	1分	・本時の活動を称賛し、次時の連絡をする。